



## 首都圏情報コーナー

佐渡市と長岡市は「集客プロモーションパートナー都市協定」を結び、集客に向けたPR活動をお互いに支援しています。



長岡おでかけ情報

### 長岡雪しかな祭り

雪しかってな～に??? 長岡市では、明治初期、冬の間を雪を積み上げ、溶けないようにワラで覆ったものを「雪にお」と呼び、夏の間はその雪を販売するお店がありました。雪に負けず雪を楽しもうと、当時の「雪しか屋」というお店の名前から、「雪しか祭り」と名付けました。

期日 2月19日(土)～20日(日)  
ジャンボスノーすべり台、ミス雪娘コンテスト、雪花火ほか(天候等により、イベント内容は変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。)

会場 ハイブ長岡ほか  
(長岡市千秋3丁目315番地11)  
お問い合わせ 長岡雪しか祭り実行委員会  
(長岡市観光課内 ☎0258-39-2221)

### 「佐渡ロングステイ・セミナー」開催

小春日和に恵まれた、去る平成22年12月11日、東京都渋谷区表参道の新潟館・ネスパス3階会議室で「第3回佐渡ロングステイ・セミナー」が開催された。佐渡観光協会・佐渡ロングステイ推進協議会が運営し、NPO法人交流・暮らしネットが後援するセミナーであり、豊かな自然と、温泉や食に恵まれた佐渡にゆったりと滞在し、人々の生活振りや懐深い文化・歴史に触れる「佐渡1週間ロングステイ」モニターを募集するものである。このセミナーは平成21年度から開始され、本年(平成22年)は、9月25日の第1回に始まり、平成23年3月19日の第6回まで計画されている。毎回、佐渡に関わるテーマを取り上げて講演が行われ、佐渡滞在の魅力の紹介がなされている。今回のテーマは「北前船交易と小木港の繁栄」と題した講演がNPO法人 交流・暮らしネット事務局長永田英雄氏から行われた。佐渡の特徴として、「混交文化と自然と伝統生活が温存されており、北前船交易で日本各地につながってきた島」との紹介がなされた。今回のセミナーには、10数名の方が参加されており、講演後にアンケート調査が行われた。モニターに応募予定の方が数名おり、また「佐渡1週間滞在」の印象として“朱鷺に会いたい、自然の中で北国の生活をしてみたい、ジックリ観光できそう、地元の方との交流も楽しみ、ゆっくり歴史探訪するのに良さそう”等、関心の高さを伺わせる回答がなされた。このセミナーを通じて佐渡長期滞在の方々の増加が期待される。

(文責:佐渡市東京事務所 榎谷端夫)



随想

## ゆめ飛行

No. 51

佐渡市長 高野宏一郎

立春は過ぎましたが寒さはまだまだ厳しくて、部屋にこもりがちです。このところ私は自分の生活の自然エネルギーシフトを考えていて、一昨年冬、まずは居間の暖房を灯油ストーブから薪ストーブに転換しました。

昨年は5月ごろから、ひと冬の薪の用意を始めました。許可を得た知り合いの間伐林から、倒れている杉を友人に手伝ってもらい朝早くからチェーンソーで切りわけ、搬出に汗をかいたり、地境の木を切り倒したり、たきつけの竹を用意したりして、秋には薪の山を積み上げて鼻高々でしたが、ここへ来ての寒さで、あれよあれよという間に山が低くなって来ました。この調子では薪の追加手当てをしなくてはと悩んでいます。今年は昨年の倍は切り出さなければ間に合わないようです。

佐渡市は環境を標榜し、低炭素の島と生物多様性の島づくりを目指していますが、私の薪の準備でも分かるように、自然エネルギー資源は周辺に潤沢にあっても、我々の生活をまかなうにはその手間とコストを考えると生易しいものではありません。数年前、佐渡市は自然エネルギー自給論を展開したことがあります、あまりにも現実との落差が激しく、トーンダウンしてしまいました。

しかし、最近島民の中から新たにエネルギー自給の議論や研究の機運が高まってきていて、頼もしい限りです。いつの日にか理想が実現できればと、新しい取組みに頭をめぐらせながら、薪をくべています。

(題字 高野宏一郎)